

## 令和7年度人権週間等における人権啓発活動実施業務委託提案書作成要領

この「令和7年度人権週間等における人権啓発活動実施業務委託提案書作成要領」（以下「作成要領」という。）は、広島県が実施する「人権週間等における人権啓発活動実施業務委託」（以下「委託業務」という。）に関し、公募型プロポーザルに参加しようとする者（以下「プロポーザル参加予定者」という。）が、企画提案書（以下「提案書」という。）を作成するために必要な事項を定めるものである。

プロポーザル参加予定者は、本業務の公告、公募型プロポーザル説明書及び「令和7年度人権週間等における人権啓発活動実施業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）を確認の上、作成要領により、必要な書類を提出するものとする。

### 1 企画提案時の提出書類

- ア 企画提案書 10部
- イ 業務委託見積書 1部

### 2 作成要領

#### (1) 一般的事項

- ア 用紙サイズはA4版・縦書き又は横書きとすること。図表サイズ等でやむを得ずA4以上の用紙を使用する場合は、A4サイズに折りたたむこと。
- イ ページ番号を各ページの下部中央に印字すること。
- ウ 表紙(任意様式。ただし、様式右肩に、参加資格確認通知の際にあわせて通知する提案要請記号(アルファベット)を記入すること。)、目次、企画提案書(任意様式。ただし、一部指定様式あり。)、業務委託見積書(任意様式)によること。
- エ 審査の公正を期すため、企画提案書及び業務委託見積書には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付さないこと。また、会社名を記載する場合は「当社」と記載すること。
- オ 提案は全て提案書に記載すること。
- カ 提案は1者につき1提案とし、提出後の変更・加筆は一切認めないこと。
- キ いずれの提案についても実現可能な提案であること。
- ク 採用された提案の著作権は、広島県に帰属する。

## (2) 企画提案書

業務委託仕様書を参照の上、次の事項について記載した企画提案書を作成すること。

<b>1 事業全般</b>
(1) 事業全体のスケジュール (2) 経費の妥当性 (3) 数値目標（仕様書P2 4 (1) ア 概要 数値目標）の達成を見据えた企画内容とする
<b>2 人権啓発イベントの企画及び開催運営</b>
(1) 県が設定したターゲットに向けた人権課題（P1 4 (1)ア 実施方針 イ(ア)(イ)）を使用し、参加者を確保するとともに、県民の人権に対する意識・行動変容が期待できる企画とする (2) 人権ユニバーサル事業（仕様書P2 4 (1) ア 概要 実施方針 エ）を活用した企画とする (3) 子ども向けイベントは、人権に関連した内容を盛り込みつつ、仕様書別紙1「プログラム・ブース等（案）」記載のコンセプト等に合わせて企画すること (4) 「ヒューマンフェスタ2025ひろしま 気づきからきずなへ」をメインテーマとし、ターゲットに向けたイベントの趣旨が分かるサブタイトルを考案する (5) ゲスト出演者等の起用 ターゲットを意識し、人権啓発効果の高い人物やキャラクター等の起用または催しを企画する (6) アンケート 回答者へのメリット（景品等）を企画し、アンケート回答を増やす工夫を図る
<b>3 人権週間等における人権啓発広報業務</b>
(1) ヒューマンフェスタのチラシの制作 ・チラシイメージを提出すること (2) ヒューマンフェスタのポスター制作 ・ポスターのデザイン案 (3) インターネット媒体を活用したヒューマンフェスタの広報 ・ターゲット層にヒューマンフェスタへの参加を促し、集客目標 12,000 人以上を達成するための具体的かつ効果的な手法について明記すること ・出演者等による SNS 等の発信（インフルエンサーマーケティング）及び SNS 広告を中心とした効果的な広報を実施すること ・企画趣旨、ねらい、クリエイティブ案、ターゲティング案、広告シミュレーション（媒体、予算配分、クリック数、クリック単価、CV 設定、CV 数、CV 単価、CV 率）を明確にした企画とすること (3) ヒューマンフェスタ特設サイトの開設 ・特設サイトから当日のイベント参加へ促すための構成・機能・工夫を施す ・特設サイトの全体がイメージできるような、画面イメージを提出すること ・全体的に統一感があり、アクセシビリティに配慮した、誰にでも見やすいデザインにすること (4) その他効果的な広報 ・ターゲット層を効果的に取り込むこと

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画の趣旨、広報媒体、掲載時期、掲載回数、表現コンセプト等を明確にし、媒体を選定すること</li> <li>・行動変容までつなげるため、企画内容に合わせた効果的な事後広報を行うこと。</li> </ul>
<b>4 本業務の目的に応じたその他の提案</b>	事業成果を押し上げるための提案者独自の企画提案があれば、その内容と考え方を示すこと
<b>5 サンフレッチェ広島公式試合での啓発活動</b>	出展するブースを活用し、アンケート回収数を増やす工夫を図ること
<b>6 事業実施体制</b>	<p>(1) 業務の実施体制（別記様式第1号に記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総括責任者及び担当者の氏名、役職、経験年数、主な実績等</li> <li>・業務の監理体制</li> <li>・制作の体系図等</li> </ul> <p>(2) 実績調書（人権啓発フェスティバル開催業務と同等の業務を実施した実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務名、発注者、実施年月日、ノウハウ等</li> </ul>

### (3) 業務委託見積書

- ア 広島県知事宛とすること。
- イ 当業務に係る所要経費を全て見積もること。また、見積の根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。金額は、消費税及び地方消費税を含めた金額を記入すること。
- ウ 当業務の実施に要する費用の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出することとし、「一式」という表現はなるべく記載しないこと。
- エ 提案書とは別葉で作成すること。
- オ 人権啓発イベント開催業務の区分（イベント実施等）ごとに積算内訳が分かるように記載すること。
- カ 人権週間等における人権啓発広報業務の企画・制作料、ポスター制作費、ポスター掲出料、広告掲載料等の各経費の内訳がわかるように記載すること。

別紙 「企画提案書提案事項一覧」 ※審査は次の観点から評価する。【評価基準】

評価基準は以下のとおりである。

審査基準	点数	係数	評定点	合計
<b>1 事業全般</b>				
・事業全体のスケジュールは、無理なく適切な執行ができるものとなっているか	5	1	5	20点
・経費の見積は妥当か	5	1	5	
・全体をとおして、数値目標（仕様書P2 4(1) ア 概要 数値目標）の達成を見据えた企画内容となっているか	5	2	10	
<b>2 人権啓発イベントの企画及び開催運営</b>				
・県が設定したターゲットに向けた人権課題（仕様書P1 4(1) ア 実施方針 イ(7)(イ)）を使用し、参加者確保から意識・行動変容までの戦術が提案されているか	5	5	25	90点
・人権ユニバーサル事業（仕様書P2 4(1) ア 概要 実施方針 エ）を活用した企画運営となっているか	5	1	5	
・子ども向けイベントは、人権に関連した内容を盛り込みつつ、仕様書別紙1「プログラム・ブース等（案）」記載のコンセプト等に合わせた企画となっているか	5	4	20	
・各会場のコンセプト（仕様書別紙1「プログラム・ブース等（案）」）に合わせた企画となっているか	5	1	5	
・ターゲットに向けたイベントの趣旨が分かるサブタイトルが考案されているか	5	1	5	
【ゲスト出演者等の起用】 ・ターゲットを意識し、人権啓発効果の高い人物やキャラクター等の起用または催しの企画となっているか	5	4	20	
【アンケート】 ・回答者へのメリット（景品等）を企画し、アンケート回答を増やす工夫を図っているか	5	2	10	
<b>3 人権週間等における人権啓発広報業務</b>				
○人権啓発チラシの制作 ・会場やイベント概要等が分かりやすく記載されており、親しみやすく、独創性のあるデザインとなっているか	5	1	5	65点
○人権啓発ポスター（人権週間用）の制作 ・デザインやキャッチフレーズが県民をイベント参加に促すのに効果的なものであるか	5	1	5	
○インターネット媒体を活用したヒューマンフェスタの広報 ・広報展開の企画提案は、参加者の増加につながるものとなっているか ・ターゲット層を効果的に取り込む媒体（SNS 広告）を選定しているか ・出演者等による SNS 等の広報を活用しているか ・企画趣旨、ねらい、クリエイティブ案、ターゲティング案、広告シミュレーション（媒体、予算配分、クリック数、クリック単価、CV 設定、CV 数、CV 単価、CV 率）を明確にした企画となっているか	5	5	25	

○ヒューマンフェスタ特設サイトの開設 ・特設サイトから当日のイベント参加へ促すための構成・機能・工夫が施されているか ・全体的に統一感があり、アクセシビリティに配慮した、誰にでも見やすいデザインになっているか	5	2	10	
	5	4	20	
○その他効果的な広報 ・ターゲット層を効果的に取り込む内容となっているか ・企画の趣旨、広報媒体、掲載時期、掲載回数、表現コンセプト等を明確にし、媒体を選定しているか ・行動変容までつなげるため、企画内容に合わせた効果的な事後広報を企画しているか				
<b>4 本業務目的に応じたその他の提案</b>				
・参加者の意識・行動変容につながるような提案者独自の企画提案となっているか	5	1	5	10点
・事業成果を押し上げるための提案者独自の企画提案となっているか	5	1	5	
<b>5 サンフレッチェ広島公式試合での啓発活動</b>				
・出展するブースを活用し、アンケート回収数を増やす工夫を図っているか	5	1	5	5点
<b>6 事業実施体制</b>				
・安全対策・緊急時対応含む業務の実施体制は適切か	5	1	5	10点
・提案者の業務実績や制作スキルは信頼できるものか	5	1	5	
評定点合計				200点

**【評点表】**

点数	1	2	3	4	5
評価	非常に劣っている	劣っている	普通	優れている	非常に優れている

※審査員による評価結果の合計が、満点（200点×審査員数）の6割に満たない提案は選定しない。

(別記様式第1号)

業務の監理体制及び制作等体制

業務の体制等						
業務分担	会社等名	担当者名	勤務地 (市町名)	専任・兼 任の別	業務経験 の年数	過去の実績(過去に業 務実績のある業務名 等を記入のこと)

※ 業務全般に係る業務実施体制を記載すること。

※ なお、全ての広報事業を統括し、県（わたしらしい生き方応援課）との連絡調整を担当する総合企画窓口担当者（1名）を明示すること。

※ プロポーザル参加者は「当社」と記載すること（企業名を記載しないこと）。